

2022年7月10日

ナルク (NALC) 7月号付録

第3種郵便物

|  |   |
|--|---|
| <p>NPO法人 ナルク(NALC)埼玉西<br/>さい さい<br/><b>彩 西</b><br/>—第 238 号—</p> | <p>【発行】NPO(特定非営利活動)法人<br/>ナルク(NALC)埼玉西</p> <p>【事務局】〒359-1106<br/>所沢市東狭山ヶ丘 1-45-17<br/>田淵頼孝(代表)方</p> <p>Tel 04-2926-9787<br/>Email tabuthiyoritaka@gmail.com</p> |
|--|---|

**2022年度ナルク埼玉西拠点の定時総会  
活動計画、予算、運営委員など決まる**

**3年連続の書面決議も、会員の85.5%の賛同頂きました**

例年6月に開いてきましたNPO法人ナルク埼玉西拠点の定時総会は、コロナ禍とあって3年連続の書面審議となりました。会員が一堂に参集して、顔合わせ、心合わせを重ね、素晴らしい仲間づくりの実績を積み重ねてきましたが、コロナ禍の感染者がなお広がり、容易に総会が開けず、残念ですが、去る5月に2022年度の総会議案書を全会員に配布、6月10日までに賛否などご意見を伺いました。その結果、会員69名中、59名(85.5%)から賛同のお葉書が返送され、総会の成立と活動計画、予算、役員(運営委員など)の改選を決めることができました。

**代表に田淵(西武)、事務局長に大林(東上)が再任**

運営委員の改選(2年に1度)では、現体制を維持していくことが決まり、代表に田淵頼孝、(西武所沢地区)、副代表に斎藤一夫(同)、事務局長に大林孝之(東上地区)、財務・会計に税所潤一(同)の諸氏を再選しました。ご支援よろしくお願ひします。

**残念な報告 初代代表の岩井節夫さんが黄泉の世界へ旅立つ**

なお、残念な報告をお伝えしなければなりません。NPO法人ナルク埼玉西拠点の設立に持ち前の熱意と行動力を発揮され、初代代表を務められた岩井節夫さん(川越市在住)が去る6月3日、黄泉の世界へ召されました。享年84歳でした。葬儀・告別式は6月8、9の両日に川越市で執り行われ、東上地区の大林孝之さん(志木市在住)と税所潤一さん(川越市在住)が参列、故人を偲ばれました。

2面に【岩井節夫さまを偲んで】の一文を認めました。

### 【岩井節夫さまを偲ぶ】

岩井さんは、昭和12年（1937年）長野県の小布施町で誕生。持ち前のこやかさと人の面倒をとことん見る性格で、誰からも好かれる存在感のある人財でした。

人生の職場は、小松製作所。そこで、役員室長、秘書役などを務める傍ら、「日本花の会」の事務局長を務め、日本列島に桜の花いっぱい、時に世界へも桜の苗を寄贈されてきました。定年後は、NPO法人ナルク埼玉拠点、同埼玉西拠点の設立に尽力されました。その一方で、秩父の羊山公園の芝桜の基礎づくり、東京・日本橋の河川浄化に、“有用微生物群「EM菌」”でつくったダンゴ1万個の投入、戸田市の花いっぱい活動にボランティアで全面協力されるなど、ファイトいっぱいに取り組まれていた姿が思い浮かびます。

その岩井さん。こよなく、お酒を嗜まれ、酔いに任せて詩吟を朗々と謳い上げ、踊りも年季が入っていました。同時に、健康にも気を配り、生まれ故郷の小布施マラソンや川越市民マラソンにも意欲的に参加。数十回もの参加記録をお持ちです。

その岩井さんとの出会いは、今から50年強も前のこと。当時、新しい賃金制度や週休2日制の導入など話題いっぱいの取材先だった松下電器労組委員長の高畑敬一さんと東京・赤坂の「寺子屋」という酒場で岩井さんと名詞交換、交流が始まり、川越市に一戸建て構えられ、東武東上線川越市発の準急で都心部へよく一緒しました。

2022年6月のナルク埼玉西拠点の運営委員改選に当たって、5月に監事を退任したいとの電話をいただき、これまでの功績などから是非、相談役として名を残してほしいとお願いし、元気な声で快諾をいただいた矢先の訃報に、まさかの思いと驚愕を隠しきれずにいます。今は、ただ、ご冥福をお祈りするばかりです。合掌。

（前代表・顧問 飯田康夫記）

今秋11月6日(日)の午後、坂戸で「認知症家族介護教室」開きます  
会場は、坂戸市元町17-1 坂戸市文化会館3階

令和3年度に開催を予定していました坂戸市からナルクに委託事業として受けていました「家族介護教室」を講師先生から是非、対面でお話したいとの申し出があり、市の理解を得て、4カ月先になりますが11月6日(日)午後1時30分から4時まで坂戸市文化会館3階の教室で開く準備を進めています。ここに事前案内として認知症者を抱え苦闘されている家族のための介護教室、認知症介護者向け30問30答。認知症になっても住み慣れた街で暮らしつづけられるモデル事業—ベルギー・ブリュージュ市でのNPOフォトンの素晴らしいノウハウを学びます。

講師は、秋田大学高齢者医療先端研究センター長・教授 大田秀隆氏

社会福祉法人京悠会理事長 特養真和の森施設長 岡田京子氏

※ お問い合わせ—今からあなたのスケジュールに参加のご記入をお願いします。